## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

申請区分

分野	演劇	種目	児童劇
申請区分(申請する区	分を選択してください。)		

A区分のみ

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

**複数申請の有無** 有 **申請総企画数** 2企画

## 複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された 場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能	
------------------------	--------------------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃげきだんかぜのこ			団体ウェブサイトURL		
制作団体名	有限会社劇団風の子			http://www.kazenoko.co.jp		
代表者職·氏名	代表取締役 大澗弘幸					
地位工业学专业	<b>〒</b> 192−0152	最寄	り駅(バス停)	縄切		
制作団体所在地	東京都八王子市美山町1320-1					
電話番号	042-652-1001					
ふりがな	げきだんかぜのこ			団体ウェブサイトURL		
公演団体名	劇団風の子			http://www.kazeoko.co.jp		
代表者職•氏名	代表取締役 大澗弘幸					
es salaren (l	〒 192−0152	最寄	り駅(バス停)	縄切		
公演団体所在地	東京都八王子市美山町1320-1					
制作団体 設立年月	1950年7月					
	役職員		団体	団体構成員及び加入条件等		
制作団体組織	事務向女/ 岡平王 制作郊長/港野北優子 【加入		【加入条件】劇	員】俳優15名、制作8名、文芸・演出3名 条件】劇団風の子国際児童演劇県空所 ドー定の経験者、18歳以上の健康な方		
事務体制 (専任担当者の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名		岡本圭		
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名		西川恵美子		

制作団体沿革	1950年7月、子どもの為の専門劇団として創立。以来を巡演。 1983年より全国に地域劇団風の子を発足させる。劇団関西、劇団風の子九州がそれぞれ法人独立し、現在している。	団風の子北海道、劇団風の子中部、劇団風の子
学校等における 公演実績	【2021年度公演実績】  ●小学校公演:5作品126ヶ所180日329ステージ(「ス室のすきまから」29ステージ、「とんからり」126ステージアターげんきかーい」2ステージ  ●幼稚園・保育園・子ども劇場その他の公演:12作品ン」2ステージ、「ちぇんじ・図書室のすきまから」3ステー館」37ステージ、「風の一座」32ステージ、「ないしょなぱ!」25ステージ、「とかとか」47ステージ、「小さい劇!「ポロロンシアターげんきかーい」39ステージ、「黄金の	ン、「ソノヒカギリ美術館」43ステージ、「ポロロンシ 1282ヶ所293日470ステージ(「スクラム★ガッシ ージ、「とんからり」91ステージ、「ソノヒカギリ美術 いしょのしっぽがぽん」89ステージ、「おおぐらん 場」1ステージ、「まるさんかくしかく」83ステージ、
特別支援学校等における公演実績	都立南大沢学園、岡山県新見市健康の森学園、宮崎市特別支援学校、広島県庄原市特別支援学校、埼玉東部特別支援学校、青森県青森市青森県立青森若学校しりべし学園分校、北海道札幌市手稲養護学校	E県日高市特別支援学校、静岡県伊豆の国市 葉養護学校、北海道黒松内町北海道余市養護
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料  ※公開資料有の場合URL ①プロモーション②全編(限定公開)  ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	有 ① https://youtu.be/FkQbY2hvNo4 ② https://youtu.be/cQ1ucnmqJZM ID: PW:

No.2(実演芸術) 公演・ワークショップの内容 【公演団体名 劇団風の子 1 小学生(低学年)  $\bigcirc$ 0 小学生(中学年) 象恢 小学生(高学年) 0 中学生 "一回しかない子ども時代を子どもらしく生きる"「スクラム☆ガッシン~準備完了!第2号 企画名 計画'(ダッシュ)」 スクラム☆ガッシン 準備完了!第2号計画 (ダッシュ)」 作・脚本/田中つとむ 演出/中島 研 音楽·効果/曲尾友克 美術/浅野井優子・風の子大道具プロジェクトチーム 本公演演目 制作/森恭次郎 原作/作曲 脚本 演出/振付 公演時間 80 分 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 該当なし 該当コンテンツ名 著作権、上演権利等 മ 該当事項がある 許諾状況 権利者名 許諾確認状況 いろいろな色や、いろいろな音があるように、私たち人間も一人ひとり、皆ちがう感性や個性をもって生きており、それは、とても素敵 なことです。この作品では、五人の子どもたちが、いろいろな価値観や考え方の違いにぶつかりながら、笑い、泣き、怒り…、一人ひ とりが自分と相手と真剣に向かいあい、お互いをちょっと認めあい、仲間と一緒に一本のお芝居をつくりあげるまでを描いています。 小学四年生の男子四人と女子がひとり、そんな五人の物語。 自分たちでつくったひみつ基地がマンション建設のため壊された。皆、走って走って走って・・・、着いたところは橋の下。「新しいひ みつ基地をつくるまでは、ここを集まる場所にしよう」 演目概要 今度の学年お楽しみ会の出し物に、自分たちのやりたいことをやろうと言い出したものの、歌は無理だし、ダンスはもっと無理。 (学度の子年3年)が表いの日で初に、目がたらのやりだいことをやろりと言い由したものが、歌は無理だし、タンへはもつと無理。 「じゃ、劇やらない?」「えー!」と、劇に決まる。 テキスト『小学校劇の本』を読みながら、ますだ屋のおばさんから借りた本『熊と弓』を台本にして、斉藤、五郎ちゃん、たっつぁん、 ブーヤン、島ちゃん、そして女神の役をクラスの人気者安田さんに頼むことになり、六人での劇の練習が始まった。しかし、いろんな 困難が押しよせてくる。さあ、六人はこの大きな壁を乗り越えることができるのでしょうか…。 新型コロナウイルス感染症や様々なことで子どもたちは我慢をしています。一人遊びの時間が増え、他者と深く関わりあうことも少なくなっています。子どもたちが主体的に他者とのコミュニケーションをとるためには、心からそれを望む気持ちが沸き上がることが大 切です。一回しかない子ども時代を仲間と群れて遊び、豊かなずっしりとした体験を通して子どもらしく生きていって欲しい。子どもた 演目選択理由 ちが本来持っているものに深くせまっていきたい。 また、劇中劇『熊と弓』では、人間の便利さへの追求、自然破壊を通して、『人間と自然の共存の在り方』を描いています。この作品 を観た子どもたちに、環境問題を身近なこととして考えて欲しい。このような理由この作品を選択しまた。 ① 「森がいくつ」 る。 お芝居の中で、5人の子どもたちは学年お楽しみ会で、『熊と弓』という本を劇で演じることにしました。5人は図書室で熊について調 べ、熊の生態や人間社会との関わりなどを知っていきます。参加する子どもたちには、この場面で、俳優たちと一緒に「森がいくつ」 という歌を身体表現しながら歌っていただきます。 自然と人間の関係を考えた台詞と、森の木々や電車などの身体表現をしてもらいます。体育館全体が大きな森のように感じられるよ うになりたいシーンで、子どもたちの豊かな表現力が生かされます。 児童・生徒の共演、 劇中劇の主人公の若者役になった島ちゃんが、なかなかセリフを覚えられず夢でうなされるシーンで、不思議な妖精たちが出てきま 参加又は体験の形態 今年度はさらに子どもたちを巻き込んで、新たな表現方法を模索していきたいと思います。 出演者 川島夏、井部直人、宮澤衣蕗、中瀬かほ、松田琢也、田畑祐馬(予定)

本公演 従事予定者数 出演者: 積載量: 3 6 名 (1公演あたり) 運搬 ※ドライバー等 スタッフ: 名 車 長: 6.99 m 1 訪問する業者人数含 せ 合 計: 名 台 数: 前日仕込み 無 前日仕込み所要時間 時間程度 本公演 到着 仕込み 上演 撤去 退出 内休憩 会場設営の所要時 0分(暑い 間 時期は休 (タイムスケジュー 憩を入れることも可  $7{:}00{\sim}10{:}00/10{:}30{\sim}12{:}00$ 15:00~17:00 17時30分 7:00  $13:30\sim 14:50$ の目安 能) ※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。 6月 8月 9月 10月 本公演 実施可能日数目安 12月 1月 11月 ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません) 計 29日 18日 11日 ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 共演人数目安 「森」のシーン30名/「妖精」のシーン20名 児童・生徒の 参加可能人数 本公演

鑑賞人数目安



体育館を

450名

いっぱいに使ったステージ

公演に係るビジュア ルイメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真)

※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。



劇中劇 「熊と弓」より

		【公演団体名	劇団風の子	]
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	「森」のシーン最大30名、「妖精」の3	ノーン最大20名
ワークショップ 実施形態及び内容	の等を記したものを送ります。 1.初めに、ウォーミングアップと 2.劇のストーリー、参加場面の 3.グループに分かれて練習し ①「森がいくつ」・まず体育館でおおまかな動終 ・別室に行き、四つのグルーフ 森の木が切り倒され、大きな道。 "一言館に戻り、詞や ・本音館に戻り、詞や動きを練り、 ・本番までにシーン」・まず二つ(人数によってはとなり、 ・本番がどんな動きをするのが言となりません) ・本番までに自分たちらしい表したこのまさらいに活か、 4.全員で集合して、さらいに活か、 4.全員で集合のおさらいに活か、 も、本番までに自分たちらしい表して、 4.全員で集合のおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、 も、本番までのおさらいに活か、	各学校で参加学年を決して 情景をDVDを見ながらます。 泉を説明して動いてもられます。 泉を説明して動いてもられます。 は路が出来たことで何が 長現を考えます。 の方にもらいてもらい羽根とを声がして、 はでがいる。 はではないないでもらい羽根となった。 はではないないでもらい。 はではないないではないないます。 はいたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことを確認し、 にないたいことをできないたいことをできない。 にないたいことをできないたいことをできない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ででして、子どもたちの心と身体をほぐ説明します。 います。 起きるのか、どう思うのかをグループ 別と共に動きと歌を練習します。 い表現を追求してもらいたいことを伝えます。 します。 します。 しますらいますがら考えます。 身に着けて立ち、舞台へ出るのか、それではがら考えます。 なみ者の後に繰り返す形なので、覚えて表されていことを伝えます。 はます。(最終に通した演技の動画を撮っまり)によれていことを伝えます。	ではます。 内で話し合い、 さます。 そしてどう動いて さいてもら すったおいてもら
ワークショップの ねらい	思いを馳せ「森がいくつ」という物・植物たちに目を向けてもら②「妖精のシーン」 主人公の島ちゃんの悩みや心公を励ます妖精を演じることにちにも元気や勇気を伝えられた。	う歌が生まれます。その えたらと思います。 への揺れは、現代を生き よって、悩みや壁を乗 たらと思います。	熊の生態を調べるうち、人と自然の共 歌を一緒に歌い森を表現することで、 る子どもたちが共感してくれる場面で の越えるための工夫を考え、それを観	、森や自然の動 です。その主人
その他ワークショップに 関する特記事項等	別添にR3年度の新聞記事あり			

リンク先 No.3 【公演団体名 劇団風の子 1

上越的人人人

2021年 (令和3年)

6月23日 (水曜日)

とともに、全校でプロの演劇を間近で鑑賞した。

文化芸術による子どもの育成事業

## がイ 風の



練習してきた。 から教わり、当日まで

学んでいく。

劇中で、児童は妖精

生は合唱などを劇団員

自信を持つことなどを 支え合うことや自分に

3年生の「妖精の はれるシーンを、ど されるシーンを、ど こか不思議で面白く

しかったけれど、思っん(3年)は「恥ずか

の人はやっぱりすご

い」と感想。

た通りにできた。プロ

役を担当。

芸術による子どもの育 年生は振り付け、 ショップが行われ、3 召日に事前ワーク 成事業」の一環。5月 文化庁による「文化

の子」による公演「スクラムなガッシン」が披露され た。3、4年生も舞台に参加し、練習の成果を披露する 4年生も出演 風 糸魚川市立

校長)で22日、劇団

ち込むが、せりふが覚 で仲たがいしてしま えられないことが原因 べ、放課後は練習に打 室でクマの生態を調

の中で、5人は互いに う。本番まであと数日

校のお楽しみ会で披露 材に、休み時間は図書 に遊んでいる小学4年 マと弓』という本を題 いいつも く演じられた。皆さん の劇も、またじっくり なと力を合わせて楽し さん (4年) は

研さん (74) は「1回 ろうと、思いを込め していた。 るとはどういうことだ を、子どもらしく生き しかない子ども時代 と見てみたい」と期待

のならうれしい」と話



も、皆さんが劇を通じ

R3年度新聞記事